



# 虹のかけはし



〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地

TEL : 0748-62-0234 (代) FAX : 0748-63-0588 <http://www.kohka-hp.or.jp/>



## 脳血管障害の外科治療

脳神経外科部長

田中 敏樹



平成26年4月より公立甲賀病院脳神経外科に着任しました田中です。平成24年まで旧甲賀病院にお世話になりましたが、奈良の天理よろず相談所病院等を経て戻って参りました。

脳血管障害の外科治療といえますと、脳出血やくも膜下出血などの救急疾患をまず思いうかべるのではないのでしょうか。もちろん、発症してしまってから治療を行う事も必要ですが、脳血管障害（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等）は多くが治療を行っても後遺症が残ってしまいます。ですから、どのように発症を予防するが非常に重要だと考えます。脳血管障害の予防には、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、肥満といった、動脈硬化や脳出血などの原因となる基礎疾患の内科的管理が最も大切ですが、それに加えて、外科治療を追加する場合があります。例えば、脳梗塞の原因となる重度の頸部頸動脈狭窄に対しては、内科的治療に加えて、血栓内膜切除術(CEA)や頸動脈ステント留置術(CAS)といった外科治療を行う事で、将来的に脳梗塞の再発率を減らせる事が証明されておりますし、頭蓋内動脈閉塞により重度の脳血流不全がある場合には、内科的治療に加えて頭蓋内外血管吻合術を追加することにより脳梗塞の再発を減らせることが日本のデータで示されております。また、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤に関しては、内科的治療法はなく、出血予防には脳動脈瘤クリッピング術やコイル塞栓術という外科治療を行うしかありません。こういった外科治療は従来の開頭術など切る手術方法に加えて、カテーテルを用いた切らない手術法を、症例によりうまく使い分けて行く事が現在の主流となっています。当院でも、このような脳血管障害に対する外科治療全般が、他の大規模病院や大学病院に遜色なく、高い技術レベルでバランスよく患者様に提供できる環境が整っております。これからも、甲賀保健医療圏の皆様にも手術で貢献できるよう頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。





## 眼科について

眼科医長

柿木 雅志

早いもので、平成 25 年 4 月に公立甲賀病院が新病院へ移転して 1 年半が過ぎました。移転後 1 年が経過して、ようやくわれわれも新病院に馴染んできたような感じがしています。

眼科外来は正面玄関を入ってすぐ左手に位置しています。外来スタッフは、看護師 3 名、視能訓練士 2 名、事務員 1 名、外来アシスタント 1 名、医師 3 名の合計 10 名です。外来診療は月曜から金曜の午前中で、毎日 2 診体制でおこなっています。月曜、水曜、金曜は 13 時から手術を予定しておりますので、新規患者様の受付を 10 時 30 分までとしています。火曜、木曜は通常通り 11 時 30 分までの受付です。外来医師は、本年 4 月より富田靖之医師に代わり田寺正樹医師が赴任され、柿木雅志、山名正昭、田寺正樹の 3 名で診療を行っております。

新病院では、入院が必要な患者様は 2 階西病棟へ入院いただき治療を行っております。病棟スタッフは小林千恵子師長を中心に、親身に献身的な看護を行っております。小児科、耳鼻科、眼科を中心とした入院を扱う病棟ですが、毎月勉強会を開催しながら、医師と看護師の知識の共有を図り、質の高い医療を行うよう日々努力しております。

新たに、平成 25 年 11 月 27 日より硝子体手術を開始しましたが、手術室のスタッフもすぐに新しい手術に対応していただき、安全確実な手術を行っております。下記に昨年度の手術件数を掲載いたします。

2013 年度総手術件数 : 522 件

(内訳)

白内障手術 : 488 件

硝子体手術 : 21 件 (2013 年 11 月 27 日から 2014 年 3 月 31 日)

その他の手術 : 13 件

近隣の眼科の先生方からは、いつも貴重な患者様をご紹介いただき感謝しております。内科、外科の先生をはじめとして諸先生方には、患者様の全身状態や投薬内容についてご教示いただくよう紹介状を記載させていただいておりますが、いつも快くご教示いただき感謝しております。これからも、お手数ではございますが、患者様に安全に入院生活を送っていただくために、ご教示のほどよろしくお願いいたします。

これからも地域の拠点病院となるべく診療を行ってまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 薬剤部の新たな取り組み

薬剤部長

山川 雅之

公立甲賀病院（以下、「本院」という。）では、平成 25 年 4 月の新病院移転以降、平日の日勤時間帯における外来処方せんは原則として全て院外処方せんを発行することになりました。その結果、薬剤部の業務内容は旧病院での外来調剤を主体とした業務から、病棟での新たな業務へと大きく変貌することになりました。

そこで本稿では、新病院移転以降新たに定めた薬剤部の理念とその理念に基づいて取り組んでいる新たな業務についてご紹介します。

### 1. 薬剤部の理念

新たな業務の開始に際し、目的を明確にするとともに各職員の意識統一を図る必要があると考え、「チーム医療の一員として、患者さんに安心・安全を与え有効な薬物治療に貢献します。」を薬剤部の理念として新たに掲げることとしました。

### 2. 新たな業務

#### 1) 入院患者さんへのお薬説明

入院患者さんへのお薬説明は旧病院時から行っていましたが、その件数及び内容は決して十分なものとは言えませんでした。そこで、お薬説明は上記理念を実現させるために重要な業務として新たに位置づけ、件数の増加及び内容の充実を図ることにしました。具体的には、1 日の業務スケジュールを新たに作成し現状の薬剤師数で可能な限り病棟で活動できる業務配分としました。その結果、お薬の説明件数は旧病院に比し約 3 倍に増加しました（図）。

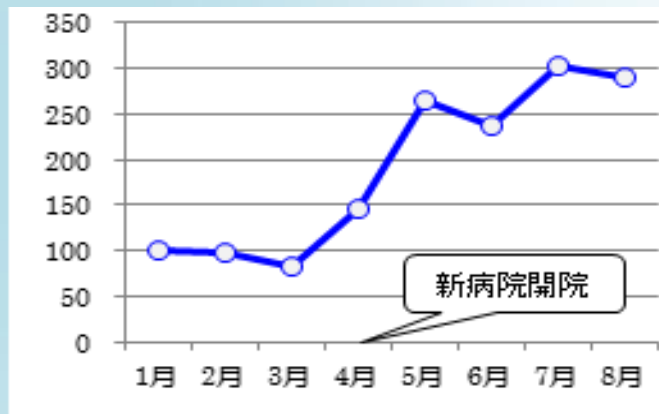


図 平成 25 年お薬説明件数

#### 2) 病棟活動

内服薬の与薬カートへのセット、麻薬の搬送及び交付、処方オーダーの代行入力などこれまで医師や看護師の業務とされてきた業務について、薬剤師が主体的に関与することになりました。今後、さらに病棟活動の範囲を拡大・充実することにより医師や看護師の業務軽減と医療安全の向上に貢献したいと考えています。

#### 3) 地域連携

世界に類を見ない速度で高齢化が進む日本において、今後、在宅治療の必要性や重要性が益々高まってくると言われています。そこで、在宅治療に移行する退院患者さんが保険調剤薬局薬剤師の訪問薬剤管理指導により自宅でも安心して薬物治療が継続出来るようにするため、退院時共同指導における保険調剤薬局薬剤師との共同参加など、環境整備をさらに推進していきたいと考えています。

## 第45回 健康講座が7月12日に開催されました



### ～IN サンライフ甲西～

今回の講座では「『胸が痛い』狭心症・心筋梗塞の治し方と防ぎ方」をテーマとし、当院の道家智博医師より講演をさせていただきました。  
113名のご参加を頂きました。

## 第46回 健康講座が9月27日に開催されました



### ～IN サントピア水口～

今回の講座では「皮膚がんのおはなし」をテーマとし、当院の若林麻記子医師より講演をさせていただきました。73名のご参加を頂きました。



多数のご参加ありがとうございました。次回の参加もお持ちしています！

## 講座案内

### ★第48回 健康講座

日時：平成27年1月24日（土）

午後2時～午後3時30分

場所：サンライフ甲西（湖南市中央1丁目1番地）

講師：産婦人科 副部長 小林 昌 医師



## 編集後記

日中は暖かなくても朝晩には冷え込みが強く、体調を崩しやすい時期になりました。体力を落とさないようお食事をしっかりと摂り、外出後は、うがい手洗い等の感染症対策を徹底することで、予防に努めていきたいものです。

(O)

